

平成25年度提案

提案番号	13-037	提案年月日	平成26年3月19日	受付年月日	平成26年3月19日	提案者	グループ	区分	アイデア
------	--------	-------	------------	-------	------------	-----	------	----	------

提案件名	庁内での葬儀後の挨拶回りの廃止	提案の要件	市民サービスの向上に役立つもの
			● 事務能率が向上するもの
			経費の節減・収入の増加に資するもの
			行政事務運営の革新となるもの
			本市のイメージアップに係るもの
			その他公益上有効であるもの

現状及び問題点	提案の内容	期待される効果
<p>【現状】 親族に不幸のあった職員が葬儀後に、葬儀参列者や香典をいただいた方のところへ、お礼の挨拶回りをしている。挨拶回りの時間は業務中が大半であり、家族が同伴している場合もある。</p> <p>【問題点】 虚礼廃止が徹底されていない一例である。 1. 挨拶回りは業務中であり、職員の仕事の手を止めさせてまで行う必要があるのか。 2. 役所内の古くからの慣習となっており、暗黙の了解で、「必ずしなければならないもの」となってしまうのでは。 → 不幸のあった職員の負担増 3. 葬儀に参列していない人や香典を渡していない人は、挨拶に回ってこられると、大変づが悪い。 4. 来庁者から見ると異様な雰囲気なのではないか。</p>	<p>一般企業等での対応はわからないが、完全廃止すべき。</p>	<p>公益性向上の面での提案ではないが、虚礼廃止の徹底につながる。 特に、【問題点】3については、精神衛生上よくないと考えるので、早急な廃止を望む。</p>

關係課意見

採用	どちらでもない	否採用
<p data-bbox="163 339 414 379">11人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●虚礼廃止の意味からも廃止すべきだと考える。また、職員係及び担当課からのお知らせについても、控えるべきだと考える。 ●なんとなく習慣で残っている部分もあると思われる。本人だけでなく親族を連れての挨拶は、不要と定めて貰った方がよいと思います。 ●まったく同様の意見です。早々に廃止しましょう。 	<p data-bbox="824 339 1052 379">2人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現実として、自分がお供えをもらった立場になったら、お供えをしてくれた方に何のあいさつもしないということは、儀礼上考えられない。よって、出勤するようになってから、本人のみ回るような方向にするようにするくらいか？お供えをする立場からしたら、別に後日、本人が回ってくるでも、こないでも気にはならないと思います。職員向けのお供え禁止にしないかぎり、あいさつ回り自体をなくすことはむずかしいと考えます。 	<p data-bbox="1462 339 1691 379">1人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つきあいの仕方はひとそれぞれなので、廃止するのは難しい。